

## メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.259 2018.11.22

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」  
11月18日(日曜日)放送「特別委員会だより2」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」(テレ玉)では、各定例会の様態や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、11月18日(日曜日)に放送した「特別委員会だより2」をご覧になれなかった方のために、内容をお伝えします。

こんにちは  
県議会です  
特別委員会だより2

[☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページをご覧ください。>>](#)

## INDEX



## 県議会広報

こんにちは県議会です「特別委員会だより2」

- 経済・雇用対策特別委員長
- 危機管理・大規模災害対策特別委員長
- 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長
- 決算特別委員長



## 県議会アラカルト

「県庁オープンデー」で議事堂を開放



## 議事堂の花

生け花のご紹介



## 県議会広報

【こんにちは県議会です「特別委員会だより2」】

## ◆経済・雇用対策特別委員会 岩崎 宏 委員長◆

経済・雇用対策特別委員会は、埼玉県の経済の動向を踏まえ、雇用、中小企業の振興および企業誘致に関する総合的対策について審査を行います。

—中小企業の振興について、お考えをお聞かせください。—

委員長 本県は中小企業の割合が99.9%と非常に高く、地域経済の大きな原動力となっています。埼玉を元気にするためには中小企業の活性化が何よりも重要であり、生産性や稼ぐ力を強化するための支援を県がより積極的に行うことが必要だと考えています。



—具体的にはどのようなことでしょうか。—

委員長 大きく変化する時代に中小企業が対応できるような支援が求められます。経営革新や技術革新の支援を引き続き実施していくことはもちろん、AIやIoTなどの新しい技術の導入・活用支援など、「スマート社会」の実現を見据えた支援を進めるべきだと思います。

—雇用対策についてはいかがでしょうか。—

委員長 少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少などにより、人手不足を感じる企業が増えてきています。「働き方改革」を積極的に進め、女性や高齢者の就業機会の拡大や働く人の能力を発揮できる環境づくりが重要だと考えます。

—雇用の場を増やすには、企業誘致も大切ですね。—

委員長 本県は、県内区間で全線開通した圏央道をはじめとする高速道路や大宮駅を起点に東日本すべての主要都市を結ぶ新幹線など、交通網が充実しています。また、大きな災害が比較的少ないなど、企業誘致には有利な条件がそろっております。企業誘致は産業振興や雇用の創出だけでなく、地域の活性化にもつながりますので、積極的に取り組んでいくことが大切です。

—今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

委員長 超少子高齢社会の到来やAIなど新しい技術の急速な進歩など、社会は大きく変化しています。これを成長のチャンスと捉え、未来への投資となる施策を進めていくことが大切です。県経済のさらなる発展のため、委員一同全力で取り組んでまいります。

## ◆危機管理・大規模災害対策特別委員会 田村琢実 委員長◆

危機管理・大規模災害対策特別委員会は、大規模災害などが発生した際の応急対策、またその発生に備えた防災対策、災害支援に関する総合的対策について審査します。

—大規模災害への対策について、お考えをお聞かせください。—

委員長 今年、大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号上陸、北海道胆振東部地震など、かつてないほど災害が多発しています。7月には熊谷市で観測史上最高の41.1度を記録するなど、この夏は猛暑が続きました。最近、気象状況の変化により災害が激甚化しており、大きな危機感を持っています。「県民の安心安全な生活を守る」のが我々の使命であり、危機管理と防災体制の強化に不断の努力で取り組んでいきます。



—災害時には、行政のスピーディーな対応が求められますね。—

委員長 行政が迅速かつ的確な災害支援を行う重要性は言うまでもありません。行政だけでなく、民間事業者やボランティアなどと連携してより効果的な支援体制を構築する必要があります。

—災害情報を県民に知らせることも大切ですね。—

委員長 正確な災害情報を迅速に提供することは、最も基本的な県と市町村の役割です。スマートフォンの普及により、多くの方が簡単で便利にさまざまな情報を集めることができるようになりました。しかし、リアルタイムに必要な情報を知ることができる反面、災害時には正確でない情報やデマが流れることがあります。こうしたツールの活用は慎重に検討しなくてはなりません。

—私たち一人ひとりも自分の身を守る行動をとらなくてはなりませんね。—

委員長 災害発生から救助や支援が来るまでの間は、自分の命と安全は自分で守らなくてはなりません。そのためには普段からの備えが必要不可欠です。災害への備えを県民に働きかけることが、被害を減らすために重要であると感じています。

—今後の活動についてお考えをお聞かせください。—

委員長 災害はいつ起きるか分かりません。大規模災害の被害を最小限にするためには、県、市町村、企業、地域住民、ボランティアなど「オール埼玉」で危機管理の意識を持ち、各自の備えや事前の対策、支援の体制を連携・強化するといった、災害による悲劇を繰り返さないための取り組みが必要です。県民の皆さまの暮らしと命を守るため、委員一同、全力で取り組んでまいります。

## ◆人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 諸井真英 委員長◆

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は、人材育成、教育改革、文化およびスポーツの振興、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催などに関する総合的対策について、審査を行います。

—人材育成についてお考えをお聞かせください。—

委員長 グローバル化や技術革新が進み、社会は大きく変化しています。こうした中、国際的な視野を持ち、世界で活躍するためには、変化する時代に柔軟に対応する力を身に付けることが求められています。しかし、どのような時代であっても、最も大切なのは自ら考え判断する人間力を高めることだと考えます。そのためには、基本的な知識を確実に習得するとともに、歴史や哲学、芸術などの教養を身に付けることが必要だと、そのように考えております。



—世界に羽ばたくためには、日本のことについて知ることが大切ですね。—

委員長 外国語や異文化を学ぶことはもちろん重要なことではありますが、まずは日本の文化や歴史を正しく理解することが大切です。日本人としての誇りや自信を持ち、多くの子どもたちに世界で活躍してほしいと思います。

—世界での活躍といえば、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が近づいていますね。—

委員長 2年後には東京2020オリンピック・パラリンピック、そして来年にはラグビーワールドカップ2019™が本県でも開催されます。現在、会場やその周辺の整備を進めているところですが、多くの県民の方に関心を持ってもらうことが大会成功の鍵になります。そして、単に一過性のイベントで終わらせるのではなく、スポーツを通じてフェアプレーやチームプレーの精神、努力して目標を達成する喜びを県民一人ひとりが実感し、それが地域のスポーツ活動に根付くような取り組み、そういうことを進めていきたいと考えております。

—文化の振興について、お聞かせください。—

委員長 県では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて埼玉の伝統文化などの魅力を国内外に発信する文化プログラムを実施しているところですが、今後も文化芸術活動の充実に積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

—今後の活動について、お聞かせください。—

委員長 今後は、「スポーツの振興」「文化の振興」について、審査を予定しております。委員会として一つ一つの課題に向き合い、埼玉県の発展に向けてしっかりと取り組んでまいります。

## ◆決算特別委員会 岩崎 宏 委員長◆

決算特別委員会は、知事から、決算関係の議案が議会に提出されると設置される委員会です。一般会計や特別会計など、県全体の決算について、審査を行います。

—決算特別委員会は、現在、審査中とのことですが、どのようなことについて審査されているのでしょうか。—

委員長 9月定例会に提出され継続審査となった、一般会計と特別会計、公営企業会計の決算の認定について審査をしています。



—審査はどのように進めているのですか。—

委員長 知事から提出された決算書に基づき、書類では分からない部分や疑問点など、執行部に詳しい説明を求めています。18人の委員が集中的に審査を行い、議会として県の財政運営をしっかりとチェックしております。

—どういった観点から審査をされているのでしょうか。—

委員長 予算の執行は、関係する法令に沿って、適切に、効率的に行われたのか。施策や事業の目的はどの程度達成され、県民サービスや福祉の向上にどう貢献したのか、といった視点で慎重に審査を行っています。

—平成29年度の一般会計の決算状況は、どうだったのでしょうか。—

委員長 平成28年度と比較すると、歳入総額、歳出総額ともに1.6%増加しており、平成10年度、11年度に次ぐ過去3番目に大きい規模となっています。

—歳入、歳出、いずれも増加したのですね。—

委員長 歳入のうち、県税収入は6年連続で増加し、納税率も97.8%と、7年連続で上昇しています。安定した税収を確保するため、引き続き県内企業の支援や雇用の拡大に積極的に取り組んでいくことが重要であると考えます。

—歳出では、いかがでしょうか。—

委員長 歳出のうち、民生費や土木費、警察費などが前年度に比べて増加しました。民生費は医療や介護などに使われる経費、土木費はラグビーワールドカップ2019™の会場整備費、警察費は大宮警察署や岩槻警察署の庁舎の建設費が主な増加の要因です。一方で、教職員給与費の負担事務をさいたま市に移譲した影響により教育費が減少しました。

予算の適正かつ効果的な執行をチェックする決算審査は、予算審査と比

べて注目されませんが、事業の成果などを検証する意味で非常に重要であると考えます。

—委員会での審査結果は、どのようにまとめていかれるのですか。

委員長 12月定例会で、私から報告を行うことになっています。

委員の意見を踏まえ、改善や検討を要する事項を指摘した内容になるものと考えています。

[▲トップへ](#)

## 県議会アラカルト

このコーナーでは県議会にまつわる情報を発信しています。

---

### 【「県庁オープンデー」で議事堂を開放】

11月14日(水曜日)の埼玉県民の日に開催された「県庁オープンデー」では、県議会議事堂を開放し、本会議場や議長室を県民の皆さまに見学していただきました。

県議会議事堂には1,236人の方々に足をお運びいただきました。

お越しいただいた皆さまには心から御礼申し上げます。

[☆詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)



[▲トップへ](#)

## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

### 【協力 埼玉県いけばな連合会】

展示期間:

11月5日

～11月9日

作者:



草月流  
松野朱世様  
花材:サンゴミ  
ズキ、ツバキ、  
キョウチクト  
ウ、ピンポンギ  
ク、ケイトウ

◇◆生け花の作者の方に聞きました！◆◇



〈草月流 松野朱世様〉

Q: 真っ赤なサンゴミズキの枝がとてもきれいに映える作品ですね。

A: サンゴミズキは、気温が低くなると枝が美しい赤へ色づいてくる植物です。なので、このように秋冬の訪れを教えてください。また、ピンポンギクやケイトウといった秋の植物も鮮やかに咲き、今の季節ならではの作品と言えるでしょう。

Q: 色とりどりの花が調和して生けられていますね。

A: 議事堂ホールは落ち着いた雰囲気の色味の少ない場所です。秋の花材は色鮮やかなものが多いので、それらをふんだんに使い、場を明るくするような作品を、と思いながら生けました。  
色の取り合わせが豊かな分、キョウチクトウの葉が白くなっている部分がアクセントになっていますね。

[☆過去に展示された生け花は、県議会のホームページから》](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会議務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

